

教育資金は、住宅資金、老後資金と並ぶ人生の三大出費の一つに数えられます。一方、必要な時期や金額がはっきりしているため、計画を立てやすい資金とも言えます。今回は教育費の相談を受けました。

●…今回のケース…●

子どもの教育費が、どれくらいかかるか不安です。いつごろから準備した方がよいのでしょうか。夫三十代会社員(年収四百万円)、妻三十代専業主婦、子ども二人(三歳、一歳)、貯蓄残高約三百万円。

●…アドバイス…●

漠然としたライフプラン



家計の処方せん

≫6

教育資金の準備 ▶▶ ライフイベント表で計画

ンを明確にするために、く分けて保障重視型と貯蓄重視型があり、まずライフイベント表の作成をお勧めします。

ライフイベント表は、将来の家族の予定や希望するイベントを時系列でまとめたものです。家族それぞれの年齢の推移に合わせて、進学予定や住宅ローンの返済期間、車の購入など家族それぞれイベント、その費用をエクセルで表にします。

作成することによって、家族の未来予想図がはっきりとし、その実現のために必要な資金を把握できるようになります。さらに、今後のイベントについて家族同士で話し合う機会ができ、コミュニケーションを図ることも期待できます。

また、教育資金については、早めの準備が重要になります。その準備として一番ポピュラーなのが、「学資保険」です。学資保険には、大きく分けて保障重視型と貯蓄重視型があります。保障重視型のメリットは、親が万一が死亡した際に、死亡保険金や育英年金などが支拂われることです。ただ、親が生命保険に加入している場合は、保障が重なる点に注意してください。

勤務先の会社によっては「財形貯蓄制度」を利用できる場合もあり、子どもの進学時などに有利な条件で融資を受けることができます。相談者が勤める会社には、同制度がありましたので、利用を勧めました。

子どもの夢や希望をかなえるため、ライフイベント表を作って、早くから教育資金の準備に取り掛かるようにしてください。(福井雅人・FP有限責任事業組合・倉吉市在住)